

SSH通信

スーパーサイエンスハイスクール
岩手県立水沢高等学校
第13号 2019年12月2日 発行

SSH 特別講義②

令和元年11月19日(火)

2学年普通科文系を対象に、本年度2回目のSSH特別講義を11月19日に実施しました。大学の教官や県立博物館の学芸員を迎え、「福祉」・「経済」・「歴史」の3分野の講義を同時に行いました。生徒はそれぞれ自分の興味関心や進路希望に合わせて受講し、有意義な講義となりました。

「子どもの見る世界・感じる世界」

東北福祉大学 准教授 平川 昌宏 先生

子どもは大人とは異なる独特なものの見方、感じ方をしながら取り巻く世界や自分自身を眺めている。その子どもたちに寄り添いかかわっていく際には、その「子どもなり」のものの見方・感じ方を理解することが大切であることを学んだ。

〔生徒の感想〕

子どもの感じる世界が自分たちと異なり、独特の考えを持っていることを知ってとても面白かった。自分たちもこの時期があったと思うと、今こうして考え方・見方が変わっているのが不思議だった。



「グローバルゼーションとは何か？」

～経済史から考える～

東北学院大学 教授 佐藤 純 先生

古代の間接的な貿易から始まり、コロンブスの新大陸発見による大西洋三角貿易、アジア三角貿易などを経て、グローバルゼーションは経済と共に進んできたが、有益な側面だけでなく、格差など様々な功罪があることを学んだ。

〔生徒の感想〕

グローバルゼーションについて、国語や社会で学んだことはあったが、経済の視点から考えたのは初めてだった。国に入ってくるモノや人を図式化してグローバルに見る視点が面白かった。



「アイデアを形にする～展示会ができるまで～」

岩手県立博物館 学芸員 原田 祐参 先生

展示会の作り方や展示品の扱い方、古文書の読み方など展示会の奥深さや魅力について学んだ。実物の刀を用いて、日本刀特有のそりや模様を観察した。また、水高の展示会があったら何を展示するかのワークショップを行った。

〔生徒の感想〕

今回の講義では、実際に本物の刀を見ることができ、とても楽しく貴重な体験をすることができた。最後に「水高」をテーマに展示内容を考えたことで、見る人に「もの」で自分の伝えたいことを表現するのはとても難しく、工夫が必要だと実感した。

